




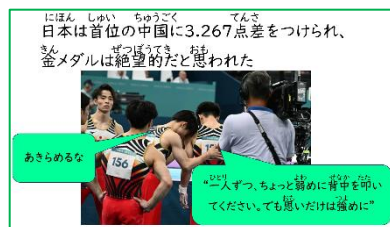


いよいよ2学期のスタート!

台風10号の影響による休校から延期となった2学期が、いよいよスタートしました。朝から交通指導に立ち、グータッチをしながら子供たちに「2学期もよろしくね!」という「よろしくお願いします。」などの声が笑顔と共に返ってきました。中には不安そうな子供もいましたが、教室を覗くと、明るい表情だったので安心しました。

さて、2学期の始業式では、私は次のことを子供たちに話しました。

「1学期の終業式では、新札の顔となった3人の名言から、きっと『 帯西レッド』の心が伸びた夏休みになったと思います。さて、2学期は伸ばして欲しい2つの心があります。それは2つの夏休み中の場面がお手本になります。一つ目は、パリオリンピックでの体操男子日本の選手が金メダルを取った場面です。日本は首位の中国に3点以上の差をつけられ、金メダルは絶望的だと思われたとき、最終演技者の橋本選手は『“一人ずつ、ちょっと弱めに背中を叩いてください。でも思いだけは強めに”』と言ってチームメートに背中を叩いてもらっています。チームの一員である杉野選手は『本音でぶつけ合え、言わないといけないことは先輩後輩関係なく伝えていける空気感をつくりたいのが、このチームのいいところ』と語っています。この姿からは、まさしく『 帯西グリーン』の心を感じることができます。二つ目は、先日の台風のときの場面です。学校も28日、29日と避難所開設をし、避難される方々を受け入れました。最大で8人の方々が避難するために来校されました。29日に台風の被害があまりなくてよかったと安堵していると、校内の至る所から漏水があり、浸水のため、2学期の始業式の開催も危ぶまれました(詳細は下記)。しかし、30日に職員が集まってみんなで手分けして、学校再開することができました。この学校のために行動する帯西の職員の姿こそが、『 帯西イエロー』の姿なのです。皆さんも2学期は、『 帯西グリーン』の心で『本音で言い合える友達をつくろう!』、そして『 帯西イエロー』の心で『学級・学校のために力を合わせて行動しよう!』という2つの心を伸ばして行ってほしいと思います。



台風10号の爪痕

上記でも書いていますが、台風10号は、校内への水の浸入という形で爪痕を残しました。29日の夜、廊下の壁面から「ジャジャーン」という音が聞こえてきました。なんと、壁から水が漏水し、家庭科室前の廊下が水浸しになっていました。避難所対応されていた市の職員の方々も総動員し、それでも手に負えなくて、夜遅くに市教委の施設課の方にも対応していただき、何とか漏水は収まりました。しかし、ホツとしたのも束の間、放送室前の廊下にも水溜まりができていました。恐る恐る放送室のドアを開けると、「ジャーン」と水が流れ出てきました。原因は学校屋上のさらに上にあるアンテナ塔の排水管が詰まり、溜まった水がアンテナのコードが通されている管に流れ出し、校内の管が通っている各所で漏水が起きたのです。



30日は全職員で、学校の復旧作業に当たり、2学期に向けて準備をしました。協働しながら、学校をよりよくしようとする本校職員の姿は本当に素晴らしいと思います(手前味噌ですいません)。これからも、全職員で力を合わせてよりよい学校を創っていきます。